400720-04 @R (05)

# 壁付サーモスタット式シャワー水栓 施工説明書 KF132(N)(W) 〈各仕様共通〉 施工説明書

- 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。 この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。
- ■この施工説明書はKF132N仕様のイラストで説明しています。

# 安全上のご注意

- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



0





S

ストレーナをいきなり開けますと高 温の湯が出てやけどをしたり

水が吹き出して、家財などを漂ら

す財産損害発生のおそれがあります



\$\@\@

水抜き栓をいきなり開けますと高

温の湯が出てやけどをしたり、湯

水が吹き出して、家財などを漂ら

す財産損害発生のおそれがあります

器具が破損し、やけど・けがをし たり、漏水で家財などを濡らす財

産捐害発生のおそれがあります。 温度調節ハンドルの目盛が、吐水 温度と合っているか確認してくだ



取付現場の圧力状況により目盛通 りの湯温にならず、やけどをする おそれがあります



通電すると水栓が発熱し、破損し て家財などを濡らす財産損害発生 めっき仕様の場合 めっき部品は、ぶつけたり落とした りしないでください。また、鋭利な 物や硬い物を当てないでください。



るおそれがあります。万一めっき の表面が割れた場合は、ただちに 新しい部品に交換してください。

(めっきシャワーヘッド仕様の場合) **めっきシャワーヘッドは、公衆浴** 場・レジャー施設等、不特定多数 の方が頻繁に利用する場所では使 用しないでください。



めっきの表面が割れて、けがをす るおそれがあります



器具に強い力や衝撃を与えないで

器具が破損し、漏水で家財などを

濡らす財産損害発生のおそれがあ

凍結が予想される際は、一般地仕様をおいの場

合、水栓本体や配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場

合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作

水抜きしないと凍結破損で漏水し、 家財などを濡らす財産損害発生の

を行ってください。

ください。

ります

① 使用水圧 〔A=(給湯機の最低作動水圧)+(配管圧力損失)〕

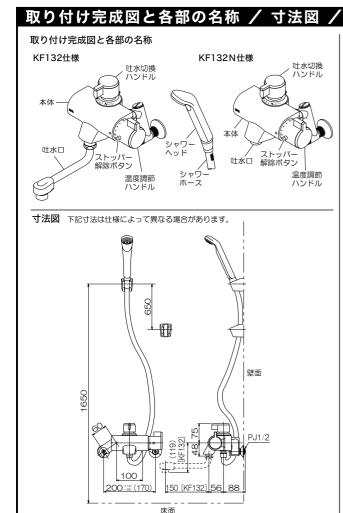
- (1) 瞬間給湯機との組み合わせ(設定条件 水温:25°C 給湯機温度調節:高温 吐水温度:42°C ハンドル全開)
- 〔比例制御式〕最低必要水圧:A+50.0KPa(動水圧)、最高水圧:0.75MPa(静水圧) (2) 貯湯式給湯機との組み合わせ
  - 〔給湯・給水圧力〕最低必要水圧:A+50.0KPa(動水圧)、最高水圧:0.75MPa(静水圧)
- ② 吐水切換ハンドルは全開で使用してください。 給湯機が着火しない場合があります。
- ③ 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力がO.3MPaから、O.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯機の給湯温度は、必要とする吐水温度より10℃以上高くしてください。なお、安全のため60℃給湯をおすすめします。 ⑦ 給湯機からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯機を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。 ⑨ 本製品は、改造(加工及び接合等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。 ⑩ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

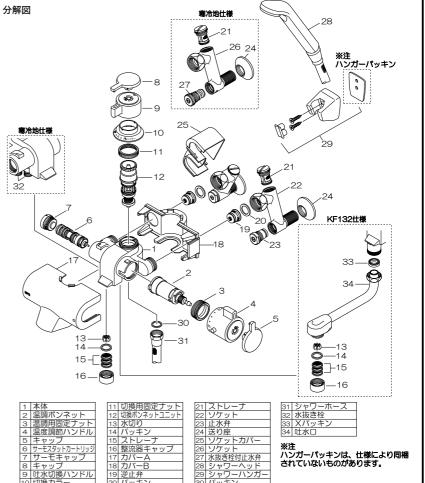
配管などの解氷のため、解氷機を ご使用の場合、水栓には絶対に通 電しないでください。 水抜き栓は水抜き以外の目的で

部品の形状は仕様によって異なる場合があります。

1ページ 2ページ

分解図





8 シャワーヘッド 9 シャワーハンガー

8 キャップ 9 吐水切換ハンドル

# 取り付け手順

配管工事後、必ず給湯・給水管内のゴミなどを取り除いてください。

### ソケットと本体の取り付け

① ソケットのネジ部にシールテ

① ソケットのネジ部にシールテーブを巻いて、配管に垂直にねじ込みます。【お願い】・図1のように湯側と水側のパッキン面は、段違いにならないようにしてください。(シールテープの巻き数にて関節してください。)

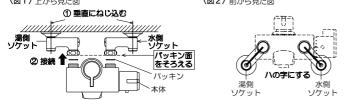
・図2のように湯側ソケットと水側ソケットは「ハ」の字にして取り付けてください。

② ソケットと本体を接続します。

[ 注意] 締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。 しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。

〈図1〉上から見た図

〈図2〉前から見た図

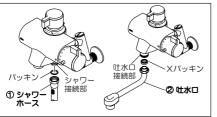




#### ´シャワーホースと吐水口の接続

- ① シャワーホースをシャワーエルボに 接続します。
  ② KF132仕様のみ吐水口を吐水口接続
- 部に接続します。 締め付けは、二面幅に合わせてモン
- キーレンチ等で確実に行ってください。

【お願い】締め付ける際は傷が付かないよ う、あて布等をしてください。



#### ステッカーの貼り付け

使用方法ステッカーを見易い位置に貼り付けてください。

5ページ

# 取り付け後の点検と清掃1

[ △ 注意] 水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5~6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがな いことを確認してください。確認しないと、湯水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

#### ストレーナ清掃のお願い

ソケットと吐水口のストレーナにゴミ等がつまりますと、吐水量が減ったり、希望する湯温にならない 場合があったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

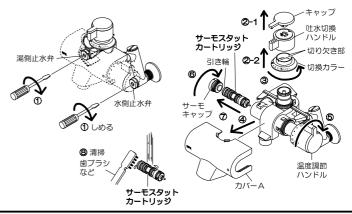
### -モスタットカートリッジの清掃方法

サーモスタットカートリッジにゴミ、水あか、汚れ等が付着しますと、吐水量が減ったり、温度調節が うまくできなかったりしますので清掃してください。

【▲ 警告】サーモスタットカートリッジの薄掃は、止水弁又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。 サーモスタットカートリッジをいきなりはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ① 湯水両側の止水弁 [2ヵ所] 又は元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- ② キャップをまっすぐに引き抜いてはずし、吐水切換ハンドルを取りはずします。
- ③ 切換カラーを反時計回りに回してはずします。
- (切換カラーがはずれない場合は、先端の切り欠き部に○ ドライバーを引っ掛けて回してください。) ④ カバームを手前に引いてはずします。
- ⑤ 温度調節ハンドルを高温側にします。
- ⑥ サーモキャップをはずします。
- ⑦ サーモスタットカートリッジの引き輪を起こして、回しながら引き抜きます。
- ⑧ サーモスタットカートリッジをブラシで水洗いします。
- 清掃後は上記と逆の手順で組み込んでください。

【お願い】取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。



# 取り付け後の点検と

## 温度調節ハンドルの設定方法

工場出荷時に温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならない場合があります。 温度調節ハンドルの目盛が叶水温度とズレている場合、温度調節ハンドルをはめ直してください。

#### -{はじめに確かめてください}-

- ・止水弁を全関にしているか確かめてください。 ・ストレーナにゴミづまりがないか確かめてください。 ・給湯温度(60℃以上)の湯が給湯できているか確かめてください。※ 推奨温度は約60℃です。
- ① 全開吐水で目盛に関係なく40°Cのお湯が出る所まで、 温度調節ハンドルを回します。
- ② キャップをまっすぐに引き抜いてはずし、温度調節ハンドルを回転させないように取りはずします。
- ③ ハンドルの「40」の目盛を表示ポイントに合わせてはめます。
- ④ キャップにて固定します。

【お願い】取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。 【 注意】目盛は、温度表示ではありません。目盛は、温度調節の目安としてください。



# 流量の調節方法 流量の調節は右記の方法で行ってください。 湯側止水剤 あける。 しめる 水側止水弁 しめる

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処 置	参照ページ及び項目
湯水が 止まらない	吐水切換ハンドルは止水位置に合っていますか	吐水切換ハンドルを止水位置に合わ せる	取扱説明書4ページ 「吐水切換方法」
	止水直後シャワーヘッドから落ちる水滴は、シャワー ヘッド内の残留水です。 故障ではありません	_	_
吐水量が	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ 「流量の調節方法」
少ない	ストレーナにゴミ等がつまってい ませんか	ストレーナを清掃する	取扱説明書5ページ 「ストレーナの清掃方法
(シャワー) が弱い	ガス給湯機と組合せてご使用の場合、能力切換 式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯機の能力を適正能力にセットする	_
	ストレーナは凍っていませんか	ストレーナにぬるま湯をかける	_
高温しか 出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ 「流量の調節方法」
低温しか 出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ 「流量の調節方法」
	必要とする吐水温度より、給湯機の	D給湯温度を10℃以上上げる	_
温度関節が うまく できない	湯側・水側止水弁は十分に開いて いますか	止水弁を開ける	7ページ 「流量の調節方法」
	給湯機から十分な湯がきていますか	給湯機の設定温度・作動を確認する	_
	ストレーナにゴミ等がつまってい ませんか	ストレーナを清掃する	取扱説明書5ページ 「ストレーナの清掃方法
	温度調節ハンドルの設定は合って いますか	温度調節ハンドルの設定を確認する	アページ 「温度調節ハンドルの設定方法
吐水が 飛び散る	ストレーナにゴミ等がつまってい ませんか	ストレーナを清掃する	取扱説明書5ページ 「ストレーナの清掃方法
シャワーの吐水 状態が不安定	熱源の温度を下げ(約60℃)、水側止水弁をしぼることにより、改善される場合があります		_

### [水栓本体内部のメンテナンスをする場合]

[ △ 注意] 修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。 水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

7ページ 8ページ